

第五回

# 京都の 木の家 づくり

表彰作品集

— ぐあいさつ —

京都で育った木で家を作る。

住む人にとっても、地域の森にとっても、私たちを取り巻く環境にとっても心地よいことです。

京都府産木材利用推進協議会は、京都府が制定した京都府産木材認証制度に基づき、京都府産木材を供給する「取扱事業者」「認証機関登録事業者」及び京都府産木材を使って建築に取り組む「緑の事業者」で組織する団体です。

協議会では、京都府産木材の推進に関する様々な事業に取り組んでいますが、令和元年度から、京都府産として認証された木材を使って建築された建物の表彰事業を行っています。

第5回目となる今回は、「ひろがる京の木整備事業（建物型）」など、京都府の交付金の交付対象となった建物等を対象に、応募いただいた中から「木材利用」「建築技術」「京の木の文化」の面から厳正な審査を経て、優秀な建築を表彰することとなりました。

地域の森林で生産された木材を使って木造建築を進めることは、再生産可能な森林資源の循環利用に役立つとともに、地域の林業・木材産業が発展することにより、地域振興にもつながります。

さらに、近くの森林で育った木材を使うことは輸送に伴う二酸化炭素の排出量も少なく、地球温暖化を防ぐ役割も果たしていると言えます。

これからも京都府産木材の利用について、皆様の御理解と御協力をお願いします。

主催 京都府産木材利用推進協議会

共催 京都府

後援 一般社団法人京都府建築士会／京都府建築工業協同組合／京都府森林組合連合会／  
一般社団法人京都府木材組合連合会

## 目次

ごあいさつ		1
総評 審査委員長 高田光雄		3
最優秀賞・知事賞		
ウラヤナギの家（京都市右京区）	設計 トヨダヤスシ建築設計事務所 施工 株式会社竹内工務店	4
優秀賞		
辻石材店（舞鶴市）	設計・施工 株式会社大滝工務店	6
株式会社吉秀トラフィック様 CLT倉庫（八幡市）	設計・施工 タクミ建設株式会社	8
奨励賞		
シモカワラの民家再生（京都市左京区）	設計 トヨダヤスシ建築設計事務所 施工 株式会社竹内工務店	10
mahia・SUNYOU（京都市東山区）	設計 三裕建設有限公司 施工 タクミ建設株式会社	11
音楽と CAFE（京都市下京区）	設計・施工 タクミ建設株式会社	12
宝箱の家（舞鶴市）	設計・施工 株式会社坂根工務店	13
K邸（舞鶴市）	設計・施工 株式会社大滝工務店	14
木の香りと笑顔が広がる 家族が楽しい平屋のお家（綾部市）	設計 國田一級建築設計事務所 施工 有限会社塩見工務店	15
資料 第5回京都の木の家づくり作品募集チラシ		16

各賞の掲載順は作品所在地の総務省市町村コード順で、順位とは関係ありません。（敬称略）

## —— 京都の木の家づくり表彰事業・総評 ——

令和元年度から、京都府産木材を使用した京都にふさわしい家づくりの優良事例を表彰し、広く紹介することにより、環境にやさしい京都府産木材の利用促進を図ることを目的として、「京都の木の家づくり表彰事業」が実施されてきた。この事業は、「ひろがる京の木整備事業」等の京都府の助成を受けて府内で建築された建物（リフォームを含む）を対象としたものであり、府内各地から応募をいただいた。

木材関係、建築関係などの専門家7名による審査委員会において、木材利用、建築技術、京の木の文化（地域環境と生活文化）の3つの側面からなる審査基準に従って議論を進めた。木材関係の委員からは、府内産木材の使用量、使い方（適材適所）などについて、建築関係の委員からは、技術的合理性、建築デザインのオリジナリティ、地域の生活文化への適合性とカーボンニュートラルへの配慮の両立などについて、多様な意見が出された。これらを踏まえて慎重に審議を重ねた結果、本年度は、最優秀賞（京都府知事賞）として1点、優秀賞として2点、奨励賞として6点の作品が選定された。

最優秀賞に選定された作品は、京都市右京区の新築住宅で、京都府産のスギ、ヒノキが多用されるとともに、環境配慮設計への積極的な取り組みが評価された。近い将来、京都府産木材を断熱材として使用することを想定した仕様の提案も行われている。優秀賞に選定された一点目は、舞鶴市に建つ併用住宅で、木を表した外観デザインや木を活かした室内意匠などが評価された。二点目は、八幡市に建つ倉庫で、木造フレームにCLT壁を組み合わせる一方で、在来壁や小屋組には京都府産木材が使用されている。奨励賞に選定された6点は、京都府産木材を活用して設計、施工された木造住宅や併用住宅、共同住宅などであり、木材の使い方や設計上の工夫などがそれぞれ評価された。

今後、建築設計者と施工者がより強い連携をとり、京都府産木材を一層上手く使いこなし、極限的に深刻化している地球環境の保全に配慮しながら、京の木の文化を的確に継承発展させる優れた建築が府内全域に浸透していくことを期待したい。

審査委員長 高田光雄

### 審査委員

委員長 高田光雄（京都美術工芸大学副学長・大学院研究科長・教授／京都大学名誉教授／一般社団法人京都府建築士会顧問）

委員 木村忠紀（京都府建築工業協同組合相談役）  
西田教子（一般社団法人京都府建築士会副会長）  
鹿野俊成（京都府農林水産部林業振興課参事）  
森井一彦（京都府森林組合連合会代表理事専務）  
森 敦司（一般社団法人京都府木材組合連合会専務理事）  
愛甲政利（京都府産木材利用推進協議会会長）



## ウラヤナギの家

撮影 岡田大次郎

この住まいは、京都府産の構造材を使い大工の手で墨付けから加工まで行った、中庭型の省エネ住宅です。柱と梁は杉を、土台には桧を使い、伐採から製材、加工、納品までの流通を把握し、CO<sub>2</sub>排出量削減に配慮しました。

手刻みとしたことで、地域産材の特徴を考慮した加工を意識でき、現場監督や若手大工の育成に貢献できたと考えています。

省エネ性は、UA値 0.27 W/m<sup>2</sup>K、C値 0.3 cm<sup>2</sup>/m<sup>2</sup> であり、高气密高断熱とした上、太陽光発電 6 kW を載せました。夏の深夜は、エアコン 1 台で全館冷房ができており、光熱

費は 3000 円 / 月とのこと。住まい手の希望通りの性能値と快適な温湿度を実現できました。天井の付加断熱材は、ウッドファイバーを使用し、近い将来、京都府産の木を断熱材に使うことも想定できる仕様としました。

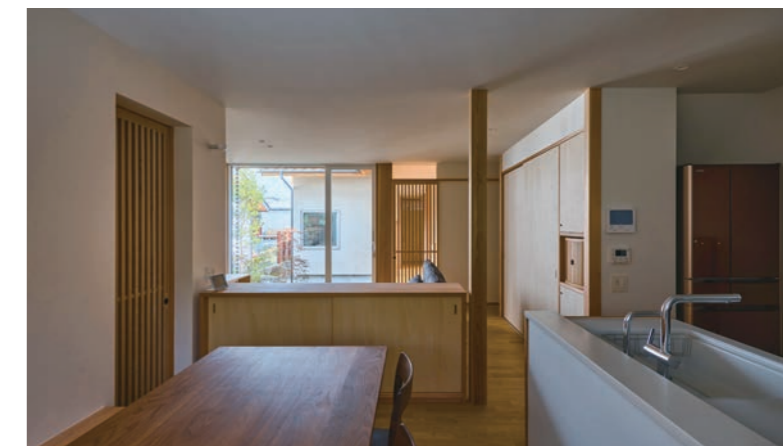
中庭型の住まいで庭を楽しみつつ、国産材や瓦、和紙などを使い、木の断熱材で外皮性能を向上させ、太陽光でエネルギーをつくる、新しい京町家を提案できたと考えています。

[ 設計 ]  
トヨタヤスシ建築設計事務所

京都府京都市下京区西七条御領町 84

[ 施工 ]  
株式会社竹内工務店

京都府京都市右京区嵯峨釈迦堂門前瀬戸川町 4-7



### 京都市右京区

Ukyo Ward, Kyoto City

京都府産木材使用量  
37.7500m<sup>3</sup>



## 辻石材店



舞鶴市  
Maizuru City

京都府産木材使用量  
40.6426㎡

建築地は主要道路角地の車や人の流れが多い市街地で、店舗・住宅用パーキングを北側に建物を南側に配置するレイアウトです。

外観は木材を表して多用し、一目で木造建築だとわかるデザインです。

1階は住宅部の玄関ホールと店舗ショールーム兼事務所に通り庭（半屋外通路）を計画し、通り庭で住宅部のプライバシーを保ちつつパーキングから店舗への動線を確認しました。

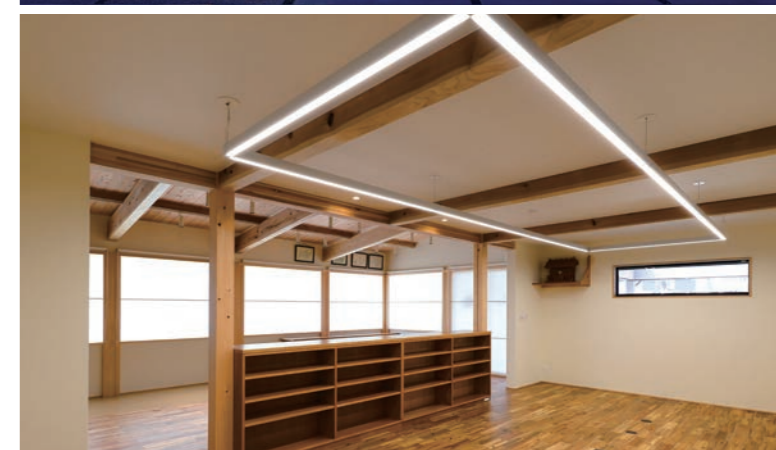
道路側には住宅玄関ポーチと屋外展示スペースを軒の深い下屋庇でつなぎ、街角からの見え方に統一感のあるデザインとしました。

店舗ショールームは杉登り梁と大工製作による大型開口で、のびやかな空間と木材による親しみを演出しています。

2階住宅部は南側に家族のくつろぎスペースのリビングダイニングを、北側は個室、南西部に水回りを計画し、リビングには造り付家具ソファでくつろぎやすさを作り、大きな空間を支える杉登り梁を表して、天井も杉を貼っています。

西側バルコニーはプライバシー確保のための木製格子とし、外観デザインのポイントにしています。

[ 設計・施工 ]  
株式会社大滝工務店  
京都府舞鶴市字南田辺 126-5





株式会社吉秀トラフィック様  
CLT 倉庫

撮影 神崎まこと

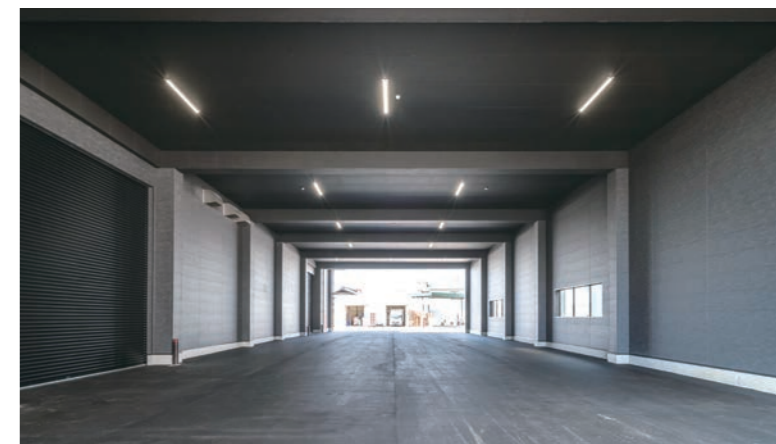
今回、CLT 材や巨大梁の利用検討も、京都府産材で行いましたが、予算の都合上、非構造壁＝在来壁と小屋組を京都府産材の採用とさせて頂きました。

建築技術としては、京都府産材以外での部分にはなりますが、可能な限り国産材を活用した巨大梁からなるラーメンフレームに、CLT 壁を組み合わせた高天井と大開口を実現しました。

今までは、倉庫といえば鉄骨があたり前であった倉庫業界に、木造建築でチャレンジした物件です。SDGs の信念を、会社経営の中

でもしっかりと持っていっていらっしゃるオーナー様のご希望に、とても寄り添った建築の実現に、竣工後も喜んで頂いております。

[ 設計・施工 ]  
タクミ建設株式会社  
京都府京都市山科区勤修寺東栗栖野町 18 番地 4



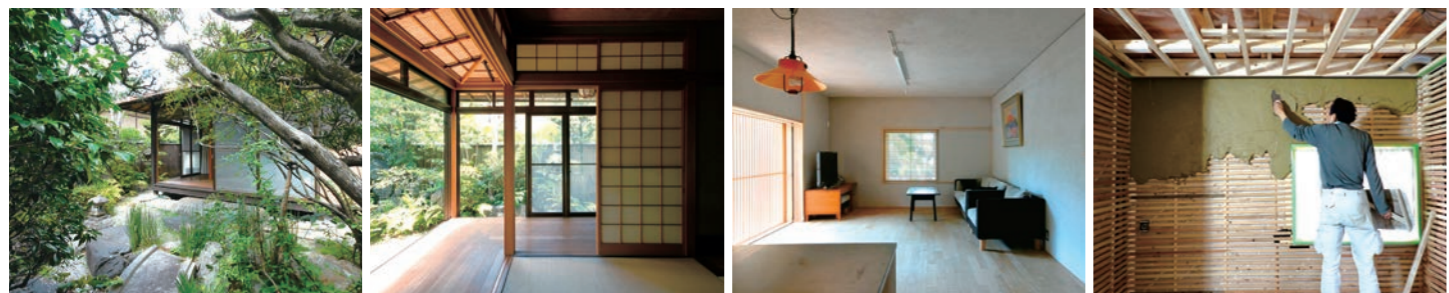
八幡市  
Yawata City

京都府産木材使用量  
85.2738㎡

奨励賞



奨励賞



撮影 トヨダヤスシ建築設計事務所



撮影 神崎まこと

## シモカワラの民家再生

〔京都市左京区〕

京都府産木材使用量  
5.8412 m<sup>3</sup>

〔設計〕

トヨダヤスシ建築設計事務所  
京都府京都市下京区西七条御領町 84

〔施工〕

株式会社竹内工務店  
京都府京都市右京区嵯峨駅迎堂門前瀬戸川  
町 4-7

この住まいは、木と土で治すことをテーマに、中間領域となる既存空間を残しつつ、区画断熱改修を実践したプロジェクトです。

住まい手は、玄関と中廊下、和室に思い入れがあり、そこは触わずLDKと水廻り、寝室の改修を望まれていました。

ただ、中廊下は、区画断熱範囲に含めないと性能が確保できないため、見え掛かりの柱はそのままとし、フローリング材だけを一旦取り外し、基礎補強と断熱付加が終わったあと同材で復旧しました。玄関と和室は、断熱区画外とし、はんなりにつながる中間領域をつくりました。

京都府産材は、構造補強材（柱や土台）、造作材、土壁の木小舞下地、外構材に使用しています。土壁は、新たに木小舞下地をつくり、荒土と中塗土を塗り、仕上げを京土の切り返しとしました。

京都に建つ既存建物は、中間領域をつくり既存を一部残すことで記憶をつなぎ、又、木の家は木で治すことがこれからの民家再生に望まれていることだと確信したプロジェクトでした。

## mahia・SUNYOU

〔京都市東山区〕

京都府産木材使用量  
104.0070 m<sup>3</sup>

〔設計〕

三裕建設有限公司  
京都府京都市山科区四ノ宮堂ノ後町 4-3

〔施工〕

タクミ建設株式会社  
京都府京都市山科区勤修寺東栗栖野町 18  
番地 4

今回使用する構造材においては、可能な限り京都府産材を採用しています。建築技術としては、基準値道路側GLとの高低差が最大1,400mmある建築条件のもと、3棟にわけて建築することにより、それぞれ高低差のある状態で棟をあげ、最終的に通路部分をスロープにしあげてから、1棟にする高度な計算技術も採用されています。

他、計算上軟弱になる部分においては、柱の抱き合わせ技術なども採用しております。

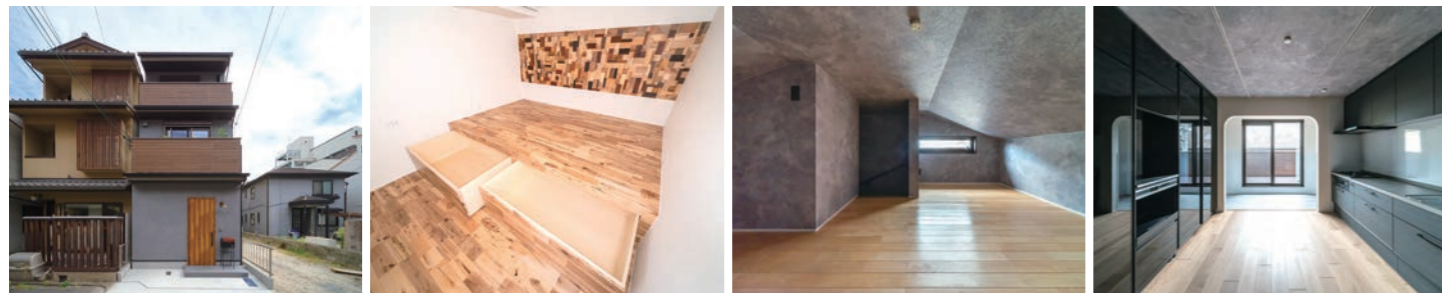
観光地域として訪問者の多い、東山での共同住宅ですが、とても京都の木の文化に沿った建物に仕上がっております。

京都の木を沢山使うことにより、京都の低炭素化への貢献以上に、オーナー様が地域に貢献したい気持ちにも、非常に寄り添った建築になっています。

奨励賞



奨励賞



撮影 神崎まこと

## 音楽とCAFE

〔京都市下京区〕

京都府産木材使用量  
18.0813 m<sup>3</sup>

〔設計・施工〕

タクミ建設株式会社

京都府京都市山科区勤修寺東栗栖野町18番地4

今回使用する構造材においては、可能な限り京都府産材を採用しました。

建築技術としては、採光もとりにくい立地条件で、尚且つ長期優良住宅、屋根裏部屋を構築、ドラムを使用する為の難易度の高い防音室造作をしかも3階に設置、という条件での、在来木造3階建て建築でありながら、高さ10mを超えない構造調整が難しかったと思います。

清水五条駅から徒歩8分圏内、という観光地域としてもかなり訪問者の多い地域での新築住宅ですが、外壁の左官壁や京都の木の採用利用により、とても京都の木の文化に沿った建物に仕上がっております。

オーナー様からも、当初より希望していた、「カフェで仕事している気分を、毎日のデスクワークで常に味わいたい」という夢の建築になったと非常に喜んで頂いております。

## 宝箱の家

〔舞鶴市〕

京都府産木材使用量  
13.6924 m<sup>3</sup>

〔設計・施工〕

株式会社坂根工務店

京都府舞鶴市字森184-3



道路拡幅に伴う建替新築工事です。生まれ育った家での出来事や、仕事を通して出会った人や物、ずっと使っていた家具など、旧家での思い出は宝物となりました。「その宝物とずっと一緒に過ごしたい」という、お施主様の想いを大切に計画しました。

玄関・和室・外観に「日本家屋らしい格調ある建物」とのご希望に沿い、上品な平屋の数寄屋建築にしました。

外観は敷地の形状に合わせて南北に細長い形になりました。単調にならないよう屋根の仕上げや高さに細かい変化を持たせバランスの良いものにしました。玄関廻りの高さは低く抑え、軒裏は垂木と小舞と野地板を化粧として格調の高い玄関に仕上げました。外構も建物に似つかわしくなるよう工夫し、外

構・門・建物が一つとなりました。

室内は、玄関を入ると低い位置に配置した地窓から坪庭が見えます。和室の床の間まわり・欄間など、思い出のものを再利用するため丁寧に取り外し修理をして取付けました。それぞれの部材を新しい木材ときれいに納めるため、部屋の大きさや柱間隔・天井高さなど一つ一つ見直しながらの造作でしたが、お施主様の宝物の詰まったご希望通りの和室になりました。

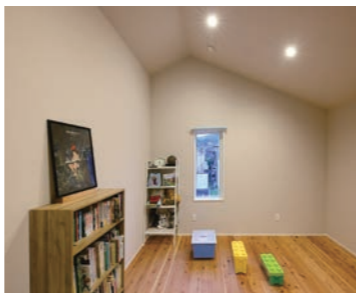
今回に限らず木材は自社の専属大工が木と触れ合い木の特性を理解して加工しています。そして大工の技能を絶やすことのないよう若手の大工を育成し継承していくことで京都の木の家づくりを続けていけると考えます。



奨励賞



奨励賞



## K 邸

〔舞鶴市〕

京都府産木材使用量  
8.6047 m<sup>3</sup>

〔設計・施工〕

株式会社大滝工務店  
京都府舞鶴市字南田辺 126-5

舞鶴市内の市街地に建つK邸は前面道路が近隣にある高校の通学路になっており車の交通量は少ないが人通りはある住宅地に建っています。

建物は北東側に配置し南西側からの通風採光を確保し、駐車場を設けつつプライバシーも保っています。

室内計画は1階に家族のパブリックスペースを、2階に家族のプライベートスペースを配置しました。

1階の大部分のスペースを占める土間スペース+ホール+リビングは4枚の大型木製引き戸を開けるとワンルームになり家族の気配を感じながらも自分一人の時間を過ごせる環境を作っています。

この部分は天井の仕上げをあえてせずに構造体の京都府内産材の梁・柱を表し、床にも杉材、建具・家具にも合板を使い室内は木質感でインテリアを構成しています。

2階は個室と浴室回りをまとめて機能重視の計画とし、浴室脱衣→洗濯室→室内干し室→ファミリークロゼットと一筆書きの様に回ることが出来て機能面と生活内の作業的な活動を楽しく行える様に計画をしています。

施主は土間スペースで家族の共通の趣味である音楽を奏でて楽しく過ごしておられます。

## 木の香りと笑顔が広がる 家族が楽しい平屋のお家

〔綾部市〕

京都府産木材使用量  
16.0300 m<sup>3</sup>

〔設計〕

國田一級建築設計事務所  
京都府舞鶴市上安久 381-26

〔施工〕

有限会社塩見工務店  
京都府舞鶴市南田辺 90-2

京都府内産のスギ・ヒノキを主要構造材に使用しています。同様に、内装材としても床や天井の仕上げには、一部京都府内産のスギの加工板を採用しました。

平屋の利点を生かし、リビングの屋根裏スペースを勾配天井にして杉板を施し、木のぬくもりが広がる心地よい空間を演出しました。

リビングに面して家族が集まり、一緒に過ごすフリースペースを設け、家族の気配を感じながら、それぞれが自分の時間を楽しむことができます。

毎日の家事の負担を軽減するために、家事のしやすさにも配慮しました。家事動線を短縮することで、お子様と触れ合う時間を確保し、家族全体が仲良く暮らせる環境を整えました。これは、これからの時代において重要な要素だと考えています。

大切な家族との時間をより豊かなものに心地よく過ごせる住まいを提供するために、地元で育った京都の木を活かし、機能的かつ温かみのあるデザインに仕上げました。



**第五回**  
**京都の木の家づくり**  
**作品募集**

**■応募対象**  
京都府産木材（ウッドマイレージCO2京都の木認証材または京都の木証明材）を使用して建築された住宅等で、「緑の木のまち拡大事業」や「ひろがる京の木整備事業（建物型）」などの対象建築、リフォーム

**■入賞作品**  
最優秀賞・京都府知事賞（賞金10万円）1点以内／優秀賞（賞金3万円）2点程度／奨励賞10点程度  
表彰は施主、設計者、施工者の三者を対象

**主催：京都府産木材利用推進協議会**  
**共催（申請中）：京都府**  
**後援（申請中）：（一社）京都府建築士会**  
京都府建築工業協同組合  
京都府森林組合連合会  
（一社）京都府木材組合連合会

**■応募規定**  
下記の書類等を令和5年11月末日までに事務局へ提出してください。  
1) 応募調書（京都府木材組合連合会ホームページからダウンロードできます。）  
2) 施設等の図面  
付近見取図（縮尺1/2,500程度）、配置図、各階平面図、4面立面図、断面図（1面以上）をA3サイズで作成  
3) 写真及び画像データ（350dpi以上推奨）  
（遠景1枚以上、外観2枚（2方向）以上、室内2枚以上、軸組1枚以上）

**■注意事項**  
提出された書類等については、コンクールの目的のみに使用しますが、写真については、京都府産木材利用推進協議会及び京都府が京都府産木材の利用推進を目的に使用することがあります。

※応募の詳細は本連ホームページをご覧ください。  
<https://www.kyomokuren.or.jp/blog/news/r5awards>



第4回 優秀賞 芝屋のN.E.W町家（福知山市）  
設計・施工 株式会社舟越工務店

第4回 優秀賞 京都市北区 ～ギャラリーをもつ家～（京都市北区）  
設計 Yama設計室  
施工 株式会社竹内工務店  
撮影 岡田大次郎

第4回 優秀賞 京丹波の家（京丹波町）  
設計 Atelier SETTEN 一級建築士事務所  
施工 株式会社坂根工務店

**【注意】令和5年度の受付は終了しています**

詳しくは京都府各振興局へお問い合わせをお願いします

この冊子は京都府補助事業「令和5年度ひろがる京の木整備事業」（京都府豊かな森を育てる府民税活用事業）により京都府産木材利用の普及啓発を図る目的で作成しました。



不許複製・禁無断転載

[編集発行]

京都府産木材利用推進協議会

(事務局：(一社) 京都府木材組合連合会)

令和6年2月発行